

資料-3

ありたい未来像についてご意見をお聞かせください

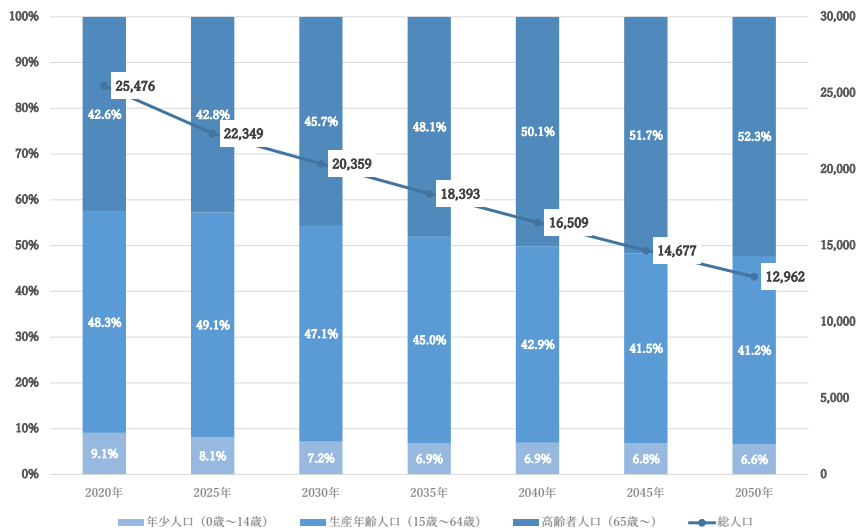
急激に人口が減少する中、県では県民の希望をかなえる社会づくりに向けた取組をさらに進めるための「少子化・人口減少対策戦略方針」を策定をします。皆様の考える「ありたい未来像」と「今の課題」などについてご意見をお聞かせください。



2

2050年 人口は2020年の約半分、高齢者が半分強

木曽郡の年代別人口割合及び人口推計



出典：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）』（令和5（2023）年12月22日公表） 3

3

2050年私たちの町村はどうなってる？

	2020年	2050年	
上松町	4,131人	1,990人	(48.2%)
南木曾町	3,915人	1,998人	(51.0%)
木曾町	10,584人	5,377人	(50.8%)
木祖村	2,692人	1,558人	(57.9%)
王滝村	715人	292人	(47.2%)
大桑村	3,439人	1,747人	(50.8%)

出典：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）』（令和5（2023）年12月22日公表）

4

4

基幹的農業従事者

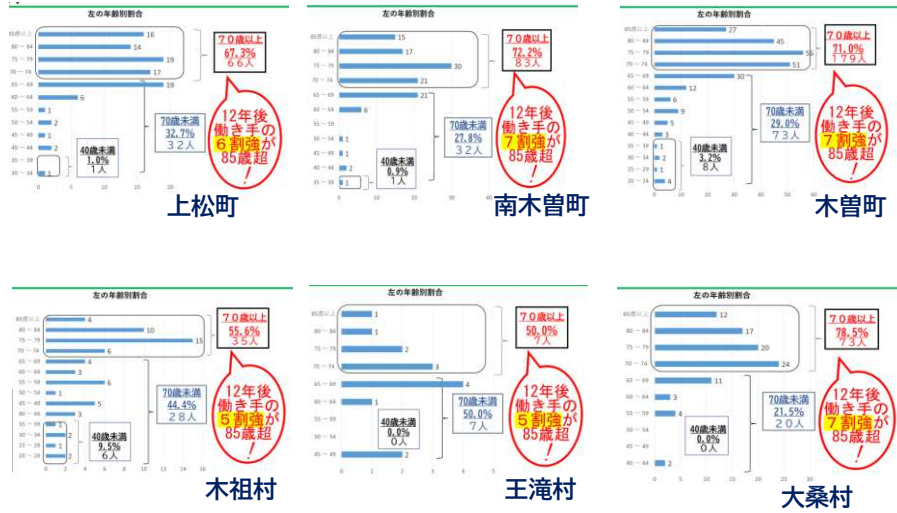
単位：人

	2010	2020	2035
上松町	130	98	32
南木曾町	176	115	32
木曾町	440	252	73
木祖村	80	63	28
王滝村	18	14	7
大桑村	156	93	20

出典元：農林業センサス推計

5

2035年12年後の私達の地域は？ 基幹的農業従事者の推移予測



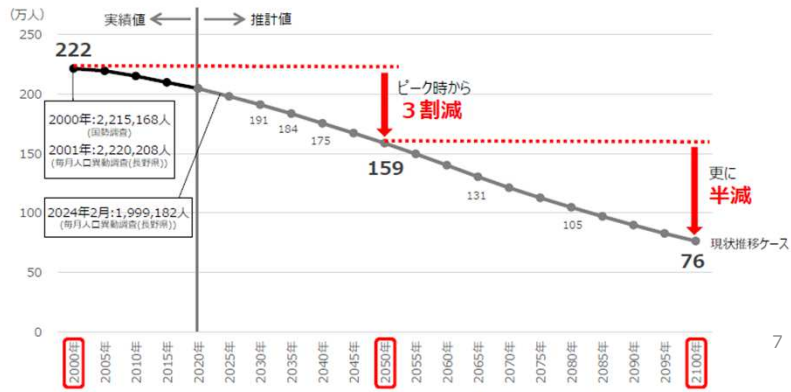
6



長野県の人口減少の現状と課題

長野県人口の推移と将来展望

- 長野県の人口は、2001年の約222万人をピークに減少を続けており、2024年2月に200万人を下回った。
- このままの状況が続くと、2050年には160万人以下、2100年には80万人以下まで減少する見通し。

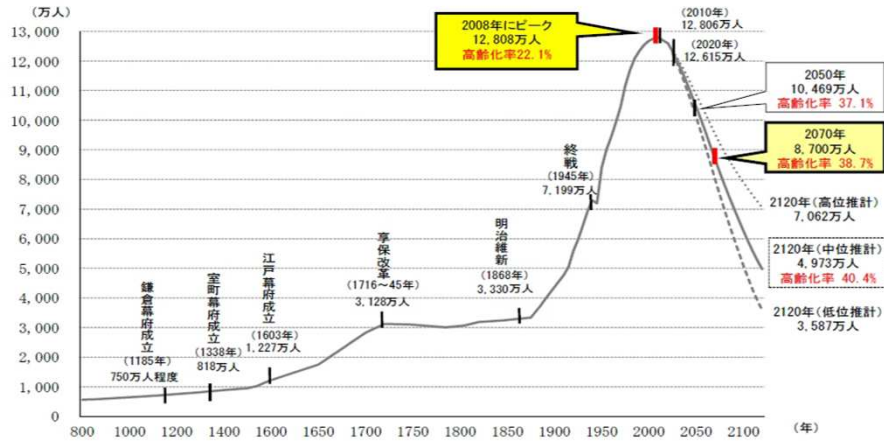


出典：2020年までは国勢調査（総務省）、2025年以降は長野県企画振興部推計

7

長野県だけの話？

急激な人口減少は全国的な問題

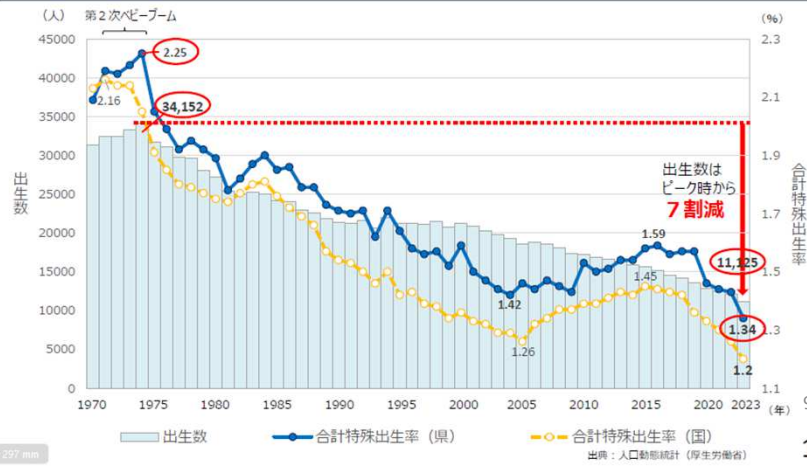


(出典)国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)。
 (注)ただし、1920年からは、総務省「国勢調査」、「人口推計年報」、「平成17年及び22年国勢調査結果による補間補正人口」、
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」により追加。値は日本の総人口(外国人含む)。

8

長野県の出生数・合計特殊出生率の推移

- 出生数は、第2次ベビーブーム以降、ほぼ一貫して減少が続き、2023年には11,125人と、ピーク時から約7割減少。
- 合計特殊出生率は、全国を上回っているものの、4年連続で低下しており、2023年には1.34と過去最低を更新。



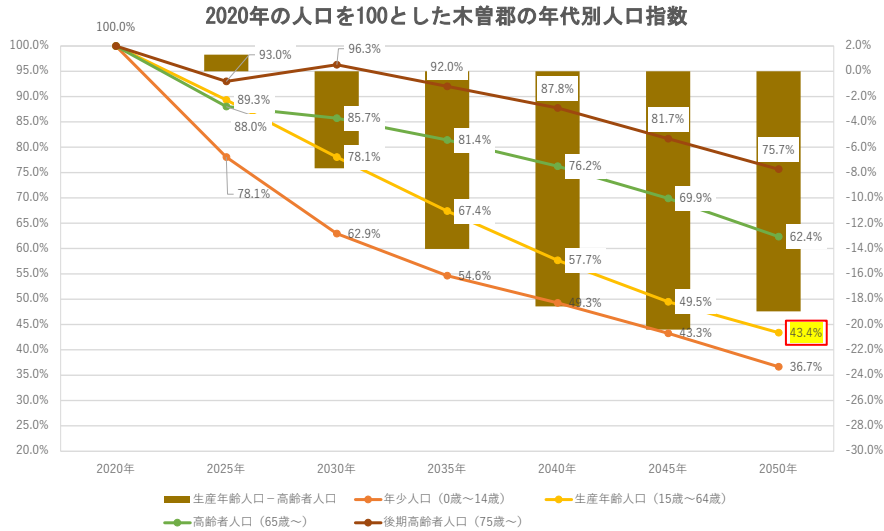
0 x 297 min

出典：人口動態統計(厚生労働省)

1

9

地域を担う世代(15歳～64歳)は約4割に減少



10

将来起こりうる問題（例示）

○ このままでは、私たちの暮らしや産業などに様々な問題が生じるおそれ。

例えば・・・

○労働力人口、消費者人口の減少
 →市場・社会が縮小
 →投資が縮小
 →生産性が向上せず成長力や産業の競争力が低下

○高齢人口の増加
 ・単身高齢者のみの世帯や認知症が増加
 ・医師や看護師が不足する地域も

○地域の担い手不足
 ・コミュニティの弱体化や伝統行事の存続が困難に

○地域居住密度の希薄化
 ・空き家・空き地が増加し、スポンジ化が進行

○農山村地域の過疎化
 ・農地や森林が荒廃し、食料生産・洪水防止機能などが低下
 →長野県の魅力である豊かな自然・美しい景観の消失

○インフラや社会サービスの維持困難
 ・道路・上下水道等のインフラや行政サービス、地域公共交通などの維持が困難に
 ・生活の足が減少し、通学・通勤、通院、買物などが困難に

○社会保障等、財政負担の増大
 ・高齢化に伴う一人当たりの所得の低下
 ・後世代の医療・介護・年金の負担額が増加

これらの問題を解決するために・・・

人口減少対策を進めるための県民会議

○人口減少下にあっても活力を維持・向上させるためには、行政、産業界、地域が、これまでの常識にとらわれることなく、新しい未来を創造していくとの強い決意を持ち、それぞれが行動変容を行っていくことが必要
 ○こうした趣旨に賛同する団体・個人を幅広く募って県民会議を設立。人口減少対策を進めるための戦略を決定し、オール信州で取組を推進していく

誰もがしがあわせ(Well-being)を実感できるゆたかな社会を創るため、私たちができることを共に考えましょう

11

人口が減ると何が起こる？②

例えば 木曽町上田小2012年閉校 王滝中学校2020年木曽町中へ編入

○ 木曽郡の児童数（2020年）

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計	学校数	児童/学校
木曽町	67	59	75	73	72	73	419	4	105
上松町	32	29	20	30	31	26	168	1	168
南木曽町	29	31	29	35	45	31	200	1	200
木祖村	17	21	22	21	21	21	123	1	123
王滝村	1	—	3	3	4	3	14	1	14
大桑村	17	14	23	18	22	15	109	1	109

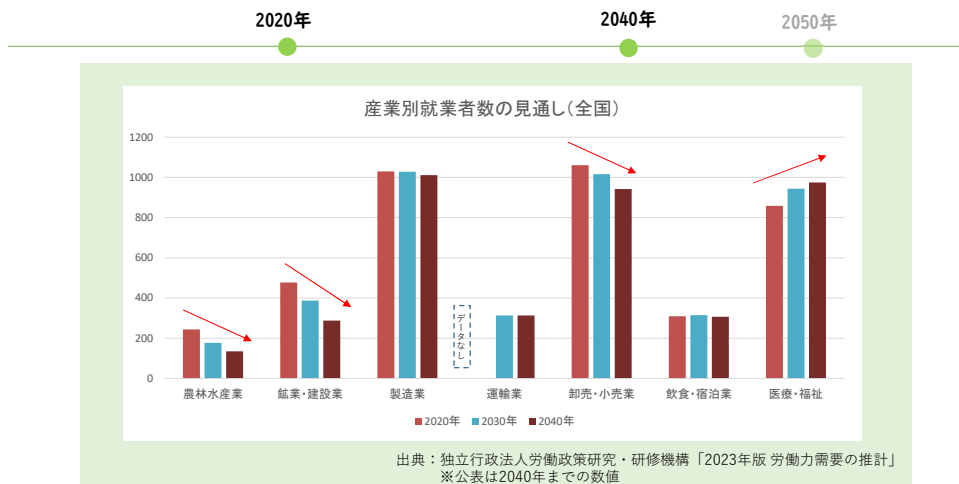
2020年の児童数から63.3%減少すると仮定
(2020年の児童数を100としたとき2050年の児童数は36.7と仮定)

○ 木曽郡の児童数（2050年）

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計	学校数	児童/学校
木曽町	25	22	28	27	27	27	156		
上松町	12	11	8	12	12	10	65		
南木曽町	11	12	11	13	17	12	76		
木祖村	7	8	9	8	8	8	48		
王滝村	1	—	2	2	2	2	9		
大桑村	7	6	9	7	9	6	44		

12

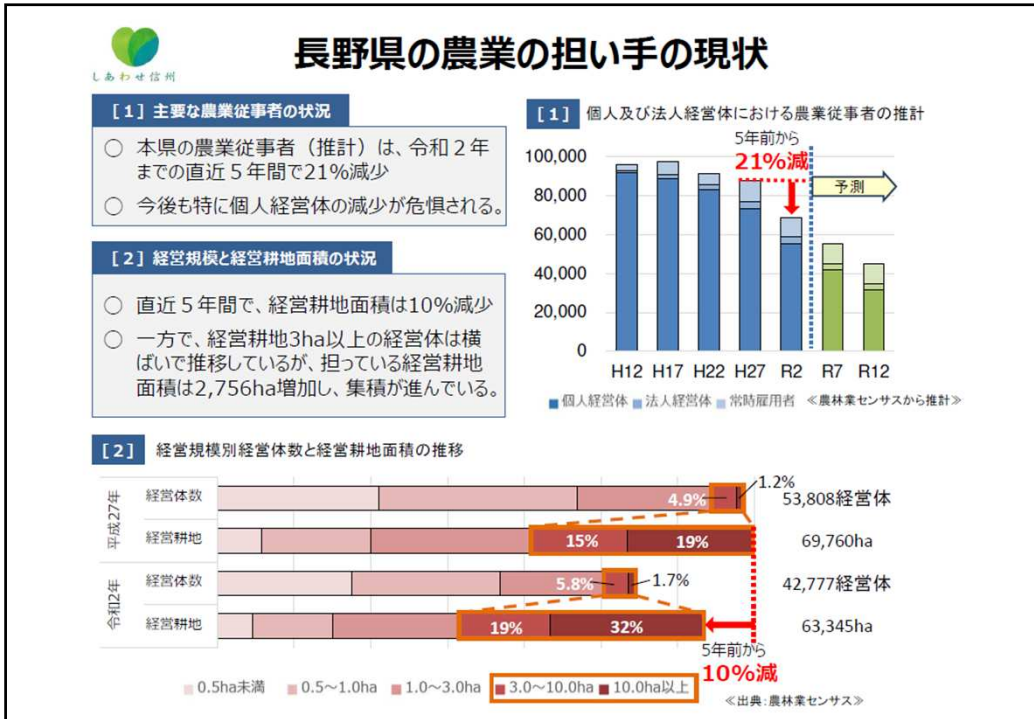
就業者数の変化 2020年→2040年



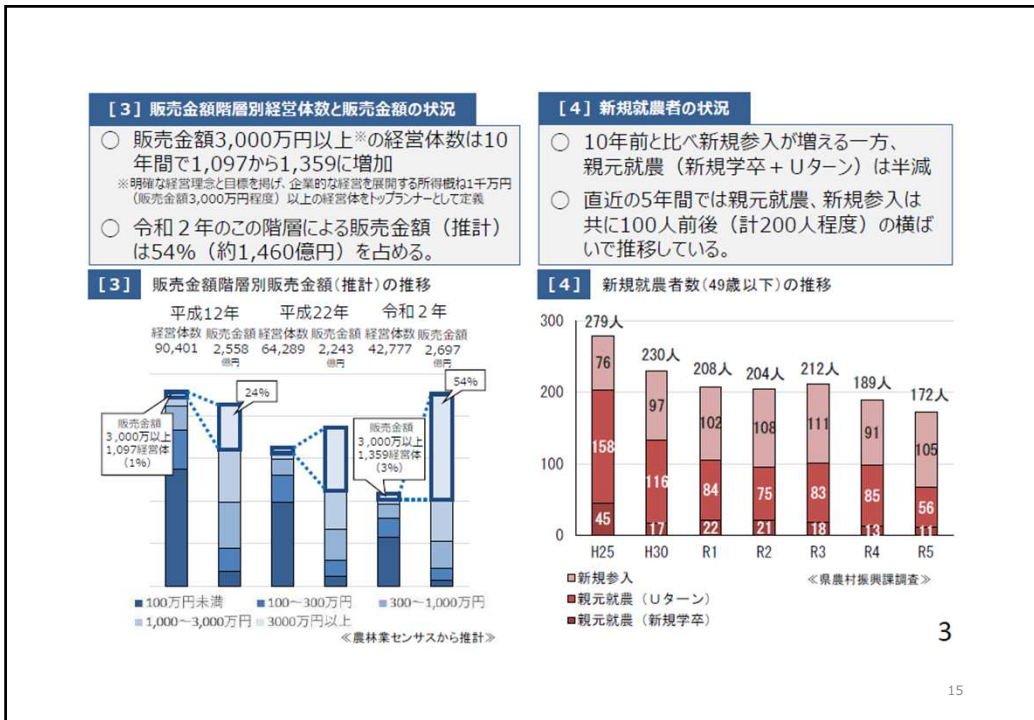
- 農林水産業、鉱業・建設業、卸売・小売業は就業者数が減少する傾向
- 製造業、運輸業、飲食・宿泊業は現状維持の見通し
- 医療・福祉は高齢化に伴い需要が増えるため就業者数は増加の予測

13

13



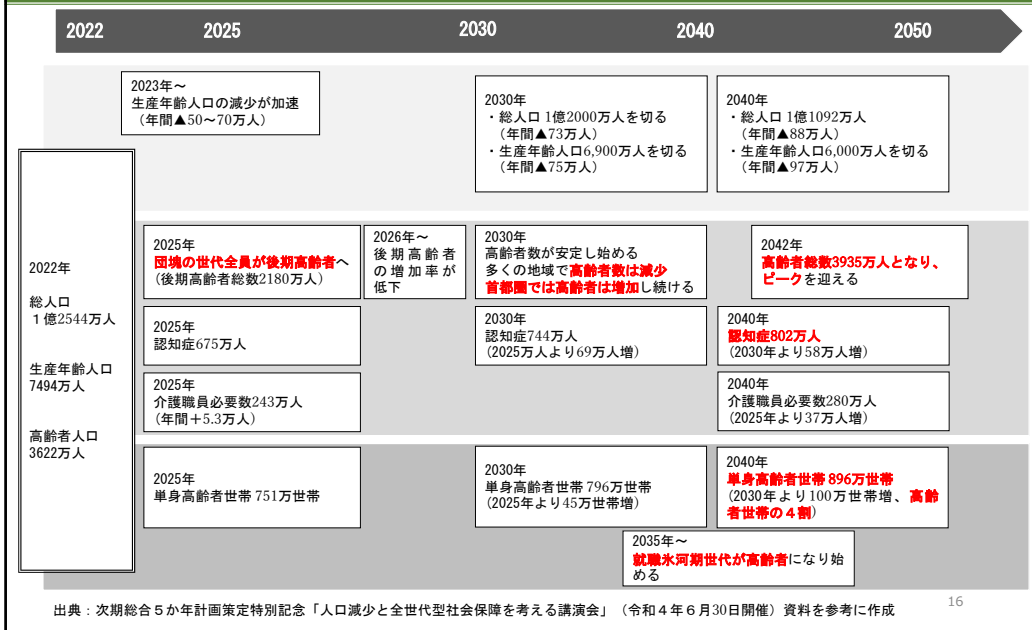
14



15

15

国内の人口等に関する短期・中期・長期見通し



16

皆様のご意見をお聞かせください

皆さんの夢を実現し、しあわせに暮らすために必要なこと・自分たちができることは何だろう？

- 子どもたちが暮らす地域はどんな地域であってほしい？
- 今の地域の課題は？
- ありたい地域にするために私たちができることは？



がんばろう
信州！

長野県 PR キャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

17

17